行政の窓

令和3年度　北海道の木材関連施策について

本道のカラマツ・トドマツなどの人工林が本格的な利用期を迎える中，道では，森林資源の循環利用及び木育の推進を通じ，北海道らしい豊かな森林づくりを進めるため，以下の施策に重点的に取り組みます。

■　ウィズコロナ・ポストコロナ社会における森林・林業・木材産業の活性化

ウィズコロナ・ポストコロナ社会において，社会経済情勢や生活様式の変容により発生した課題やニーズを踏まえた道産木材の利用拡大や就業者の呼び込み，森林を活用したワーケーション等を促進します。

✔	道産木材保管・利用拡大等対策事業費 原木の一時保管及び道産木材の利用に対して支援する。	124,500千円
✔	農林漁業新規就業安心サポート事業 新たな担い手確保に向けた情報発信や就業と移住のミスマッチを解消する取組を実施する。	13,068千円
✔	「森の魅力発信し隊」による雇用拡大事業 若手林業就業者等によるネットワークを構築し，情報交換の促進や情報発信を実施する。	1,000千円
✔	森林活用型ワーケーション推進事業費 ウィズコロナ・ポストコロナ社会における森林を活用したワーケーションを推進する。	18,585千円

■　森林整備の推進

伐採後の着実な植林や植林作業の省力化，森林吸収量の確保に向けて，着実な植林と優良種苗の安定供給に取り組むとともに，森林環境譲与税を活用した市町村による間伐等の森林整備を促進します。

✔	豊かな森づくり推進事業費補助金 原木の一時保管及び道産木材の利用に対して支援する。	682,000千円
✔	クリーンラーチ増産体制確立対策 さし木苗の分業化や生産技術の指導を行うとともに，民間採種園の適切な保育管理を促進する。	2,534千円

■　林業イノベーションの推進

人工林資源が利用期を迎え林業生産活動が活発化する中，森林の管理や造林・保育，伐採から利用までの各段階でICT 等を活用した北海道らしい「林業イノベーション」を推進します。

✔	森林資源デジタル管理推進対策費 レーザ測量の活用による森林情報等の高度化に向けた取組への支援を行う。	37,298千円
✔	スマート林業構築推進事業費 ICTを活用した先進事例の普及ＰＲや林業事業体等での試行への支援を行う。	12,811千円

■　都市木造化の促進

国内の中高層や大規模建築物においてCLT をはじめとする木材の利用が活発化する中，建築コスト低減に向けた協議会での検討や普及PR などを通じて，道内都市部での道産木材の利用拡大に取り組みます。

✔	HOKKAIDO WOOD推進事業費（森林整備等支援事業費の内数） 都市での木材利用の促進などによる道産木材の利用拡大やHOKKAIDO WOODの活用による新たな需要創出に向けた取組を促進。	58,271千円
✔	道産建築材供給力強化対策事業費 地域関係者の連携による供給力強化に向けた取組のモデルを実証し，全道へ普及する。	2,445千円

（水産林務部林務局林業木材課林業木材係）